

4グループ

テーマ「身寄りがない(孤独)のケース

がんで在宅の対応を考える

- ・行政or身元保証人or後見人
- ・服薬支援
- ・死後事務は誰がやる？

(財産あり)

- ・後見制度
- ・身元保証サービス

(財産なし)

- ・生活保護等

医療・介護・福祉 事実行為
 専門職は利益相反

(治療)

- ・資産に応じた治療は可能
- ・医師はどこまでクライアントの生活に踏み込むのか？
- ・がんの終末期でできる範囲の治療
- ・予後予測の難しさ
- ・専門の範囲でわからないこともある
- ・判断力のあり・なしで医療の方向性が変わる
- ・意思決定、誰が決めるのか？(判断力がダウンした場合)

(つなぎ)

- ・リーガルサポートにつなげた(お金のある人だった)
- ・行政で申し立てしてもらえなかった(お金なし)→エンディングノートで事前に提示
- ・後見人って何？
 そこをつまずく事例は多いのではないか？
- ・生活・医療・相談支援など、トータルカバーしてもらえる施設をたよる、つなげる